

分野：2

# 里山の秋 落ち葉の森と畑のつながり

環境アドバイザー

田島 麻帆

対象

埼玉県内の小学生(未就学)と保護者  
11 家族(約 25 名)

所要時間



2 時間

場所

埼玉県比企郡吉見町田甲

実施時期

令和3年11月23日

## 概要

学校外の多様な学びを実践する「多様な学びのプロジェクト」コドモ農業大学と、里山保全活動を通じた親子向け野外ワークショップ活動を実施。里山と農業のつながりや里山の環境保全について理解を深めるプログラムを実施した。

プログラムの

ねらい

- ・里山と農業のつながりを知る
- ・里山の資源の使い方を知る
- ・秋の里山を五感で感じる体験をする

## プログラムの内容

### 1 秋から冬にかけての里山保全活動についての(20分)

- ・全体のオリエンテーション
- ・里山の秋から冬の保全活動について説明する
- ・農業活動で育てた「サツマイモ」を、里山で焼き芋にする

### 2 活動の体験(80分)

- ・参加者は2グループにわかれて交互に体験活動を実施する
- ・体験1：落ち葉はき 落ち葉を熊手やほうきで掃いて落ち葉だめに溜める。
- ・体験2：しいたけ栽培、果樹畑、バイオマストイレ、資源活用や循環型農業とのつながり
- ・落ち葉の腐葉土は、たくさんの生き物の住処になるという話(カブトムシの幼虫など)

### 3 まとめ(20分)

農業に深いかかわりをもつ里山の自然や役割について理解深め、体験からの気づきを共有した。

## 受講者の反応

- ・広葉樹と針葉樹の違いについて、子供から質問があり実際に違いを見比べた。
- ・普段、落ち葉をゴミ袋に入れて燃えるゴミで出していたが、落ち葉はき体験や話をきいて、勿体なかったという気持ちになったという感想があった。
- ・野外活動でネックになるトイレが、安心して利用できてよかったという声が聞かれた。
- ・両隣が森林伐採され開発されていることで、これまでに増し貴重な自然環境との声があった。



落ち葉はきの様子



育てたサツマイモで焼き芋体験